

平成21年4月22日

京情協 地域情報化委員会（21年度 第1回） 議事録

開催日時：平成21年4月21日（火） 17:00～18:30

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 新館 4階 会議室

参加者：和田、藤関、古川、木下、相原、尾崎、桧山、中川、桂田（敬称略）

配布資料：地域情報化委員会（第1回）議題、添付資料①～④

議事：

今期事業計画を中心に、以下の議題が委員長から報告され、検討した。

【議題1：新規委員の紹介】

KSS 尾崎氏が中井氏の後任としてあらたに当委員のメンバーとられた。

【議題2：21年度事業計画の確認、担当の決定】 添付資料①～④

1. 委員会の開催スケジュール

- ・7回/年の開催。（4/21、6/16、8/18、10/20、12/15、2/16、3/16。それぞれ第3火曜日）

2. 新春セミナーの開催

- ・1/15（金）に、新春に相応しいテーマでオープンセミナーを開催する。
- ・講師やテーマ案については、6月の委員会にて検討する。（9月には開催申請が必要で、8月に検討していると遅いため）。
- ・各位からアイデアを出して頂き、検討することとする。一例として新東京タワーが挙げた。
- ・担当は全員。

3. 行政との連携（経済産業省、京都府、京都市、京都府中小企業技術センター）

- ・前期活動から変更のあった活動内容が当項目。

①地域イノベーションパートナーシップ構想実現に向けての協力

- ・経済産業省が推進する当構想実現に向けて京情協も協力していく。
- ・京都地区では、京情協を含む8機関がドライバー（＝活動団体・企業）に名乗りをあげている
- ・今期、京情協の事業として当委員会が窓口となって進めていく。
- ・4/24に京都地区による全体会議が実施される予定。京情協からは委員長が代表で出席する。
- ・どこまで具体的な動きが出来るかは現時点で不明であるが、協力しながら見極めていきたい。
- ・今期事業計画については、既存活動内容（ITナビMAP、経営研究会、情報交換広場）で提出した。
- ・来期事業計画は当委員会で検討・立案していきたい。何かアイデアがあれば教えて欲しい旨の依頼が委員長よりなされた。
- ・当活動の担当は委員長。

②京都府ならびに京都市の情報関連施策に協力

- ・京都府ならびに京都市の情報関連施策に協力し、事業展開に対する助言を得るなど、懇親会など

を通じて連携強化に努める。

③IT コンソーシアム京都の部会活動の情報広報

- ・ 4部会（ネットワーク、医療情報化、地上デジタル放送、情報セキュリティ）で何らかの動きがあれば、会員企業に情報を広報する。ただし、動きとしては沈静化している模様。
- ・ 4部会の担当については、正副委員長と相原氏で分担することとし、割振りについては委員長に一任した結果下記の分担となった。

ネットワーク部会	（担当：福本）
医療情報化部会	（ 〃：相原）
地上デジタル放送部会	（ 〃：中川）
情報セキュリティ部会	（ 〃：桧山）

4. 行政関連団体との連携

- ・ 昨年に引き続き、(財)京都産業21、京都試作センター（株）を始めとした行政関連団体の動きに着目し、必要に応じて会員企業へ情報を広報する。
- ・ 担当は正副委員長とする。

5. 他府県の情報産業団体との連携

- ・ 他府県の情報産業団体との連携を実施し、他府県の活動実態を知ることにより、当協会が学ぶべき点、活動に取り組んだ方が良いものに関して反映してくように活動する。
- ・ 連携する目的や意味合いを明確にした上で、どんな連携が可能かを検討していく。

①他団体での成功事例を調査

- ・ 2月委員会で古川氏より提案がなされたが、他団体での成功事例を参考にすることからまずはスタートしたい。成功事例を調べる過程で目的などが見えてくるのではないかとの話が委員長よりなされた。
- ・ 成功事例の調査方法などについては今後検討することとする。
- ・ なお、連携先については、地域イノベーションパートナーシップでの成功事例やKISA（近畿情報システム産業協議会）を当たる方が確度が高いのではないかとの話が古川氏からなされた。
- ・ 担当は和田氏、正副委員長。

②広域化について

- ・ 広域化については、関西広域連合（近畿2府4県と鳥取、徳島両県などが加入）の設立を早ければ今年11月に目指しているとの情報が古川氏よりなされた。
- ・ 関西広域連合としては、まずは広域的な防災計画の策定やドクターヘリの共同運航を計画しているとのことであった。

6. 採用支援セミナーの開催

- ・ 今期も各社の採用担当者のニーズを反映した会員企業向け採用支援セミナーを開催する。
- ・ 最近の景気動向などを考えると、この時期に当活動を行う必要があるのか懸念されるが、正副委員長会議で検討した結果、景気が悪いなりの採用の仕方や面接の手法、リテンション方法などがあると判断したため、継続して活動する。

- ・テーマについては講師の方と相談しながら検討する。
- ・2回開催の予定。
- ・昨年度の開催時期は11月と2月であったが、1月に新春セミナーが開催されることもあり、今期は7月前半頃と11月頃を候補としている。
- ・7月の講師候補は、(株) マングローブの方。マングローブは人事制度構築、若手社員研修、幹部研修等のメニューで組織力強化を行うコンサルティング会社。桧山氏が先日セミナーに出席したところ、リテンションに関する具体的な事例とともに自社で活かせる内容が紹介され、非常に興味深かったとのことであった。
- ・7月予定のセミナーは、早急に講師検討などを進め動いていく必要がある。マングローブと交渉・相談した上で、最終的に実施するかどうかを決定する。
- ・11月の講師候補は、例年通り毎日コミュニケーションズの山本氏。
- ・当活動の担当は桧山氏。

7. 採用情報の発信

- ・「採用耳より情報」を始めとした諸々の採用に関する情報を会員企業に発信する。
- ・項番6同様、この時期ならではの採用情報もあるかと思われるため、継続する。
- ・担当は桂田。

8. 大学との連携

- ・各大学の研究室（IT関係）の研究内容などをインターキョウト（注：媒体は要検討）で一つずつ紹介してはどうかといった案がある。
- ・今期の事業計画には盛り込んでいないが、来期活動に向け、今期検討を行う。
- ・2月の委員会では、古川氏よりリエゾンオフィスに関する活動を行っている小林氏、馬場氏の協力を仰いではどうかとの提案がなされている。
- ・京情協としてどこまで間に入って活動出来るかどうかは不明だが、まずはリエゾンオフィスを理解する事から始めたい。

以上